



ヘルシーキャンパス宣言 Photo: Yuji Yamamoto

CONTENTS

- ・ 令和3年度学生定期健康診断の成績について … (1)
- ・ オンラインと身体性 …………… (3)
- ・ こんなことで困っていませんか
 －「障がい学生支援室」の心理コーディネーター
 ができること …………… (4)
- ・ レクリエーション企画・ワークショップのご案内
- ・ ヘルシーキャンパス滋賀大学
- ・ 保健管理センターの相談日 …………… (5)

NO.93
 2021年10月発行
 滋賀大学保健管理センター

表1 血圧測定 (対象者:全回生)

回生	学部	性別	対象者数	受検者数	受検率	1回目測定		2回目測定		事後措置		指導区分			紹介後 結果未判明	医療機関
						者数	有所見率	者数	有所見率	者数	要呼出	再検実施 者数	放置可	経過観察	医療管理	
1回生	教育	男	102	102	100.0%	16	15.7%	6	5.9%	6	3	3				
		女	141	141	100.0%	3	2.1%									
	経済	男	306	304	99.3%	51	16.8%	18	5.9%	18	12	9	2	1		
		女	153	149	97.4%	7	4.7%									
2回生以上	DS	男	75	74	98.7%	12	16.2%	6	8.1%	6	3	1	2			
		女	25	25	100.0%	2	8.0%	1	4.0%	1	1	1				
	教育	男	320	310	96.9%	46	14.8%	21	6.8%	21	10	10				
		女	407	397	97.5%	9	2.3%	4	1.0%	4	2	2				
	経済	男	1,046	713	68.2%	179	25.1%	57	8.0%	57	37	30	6	1		
		女	476	386	81.1%	19	4.9%	4	1.0%	4	4	3	1			
	DS	男	261	205	78.5%	41	20.0%	13	6.3%	13	11	9	2			
		女	63	51	81.0%	1	2.0%									

表2 尿検査 (対象者:全回生)

回 生	学 部	性 別	対象者数	受検者数	受検率	検査結果				事後措置			指導区分			紹介後 結果未判明	医療機関		
						陽性件数			者数 有所見	有所見率	者数 再検実施	陽性件数			放置可			経過観察	医療管理
						糖	蛋白	潜血				糖	蛋白	潜血					
1回生	教育	男	102	102	100.0%														
		女	141	141	100.0%														
	経済	男	306	304	99.3%	1	6	2	7	2.3%	4			1	1				
		女	153	147	96.1%		2		2	1.4%							1		
	DS	男	75	75	100.0%														
		女	25	24	96.0%		2		2	8.3%									
2回生 以上	教育	男	320	310	96.9%	1	2	1	4	1.3%	4		1	1	3	1			
		女	407	390	95.8%	1	3	11	15	3.8%	11			1	10	1			
	経済	男	1,046	715	68.4%	1	11	11	19	2.7%	11		2	4	7	1	2	2	
		女	476	370	77.7%	1	2	7	10	2.7%	6	1			5		1		
	DS	男	261	207	79.3%	1	2		3	1.4%	3		1		2				
		女	63	47	74.6%			2	2	4.3%	1				1				

表3 胸部X線検査 (対象者:1回生と希望者)

回 生	学 部	性 別	対象者数	受検者数	受検率	検査結果		事後措置		指導区分			紹介後 結果未判明	医療機関	
						有所見		有所見率	者数 要呼出	者数 要精検	放置可	経過観察			医療管理
						肺結核	その他								
1回生	教育	男	102	102	100.0%		3	1.0%	3	3	2		1		
		女	141	141	100.0%			0.7%							
	経済	男	306	304	99.3%			0.3%							
		女	153	149	97.4%		2	0.6%	2	1			1		
2回生	D S	男	75	75	100.0%			1.3%							
		女	25	25	100.0%			4.0%							
	教育	男	97	95	97.9%			1.0%							
		女	136	134	98.5%			0.7%							
	経済	男	317	97	30.6%		1	0.1%	1	1	1				
		女	138	45	32.6%			0.2%							
3回生	D S	男	84	22	26.2%			0.3%							
		女	21	6	28.6%			1.4%							
	教育	男	97	96	99.0%			1.0%							
		女	140	139	99.3%			0.7%							
4回生	経済	男	314	180	57.3%		1	0.2%	1	1			1		
		女	156	108	69.2%			0.4%							
	D S	男	83	45	54.2%			0.7%							
		女	20	10	50.0%			2.5%							
4回生	教育	男	126	119	94.4%			0.7%							
		女	131	123	93.9%			0.7%							
	経済	男	415	270	65.1%		3	0.2%	3	2	1		1		
		女	182	144	79.1%			0.4%							
D S	男	94	77	81.9%			0.9%								
	女	22	19	86.4%			3.9%								

表4 心電図検査 (対象者:1回生)

回 生	学 部	性 別	対 象 者 数	受 検 者 数	受 検 率	検査結果		事後措置				指導区分			結果未判明	医療機関 紹介後	
						者数	有所見率	者数	要呼出	内容(件数)			放置可	経過観察			医療管理
										診察	内科	心電図					
1回生	教育	男	102	102	100.0%	7	6.9%	5	3	4	2	4		1		2	
		女	141	141	100.0%	4	2.8%	2	1	1		2	1	1			
	経済	男	306	304	99.3%	20	6.6%	3	2	2		15	3	1			
		女	153	149	97.4%	4	2.7%	1				2		1			
	DS	男	75	74	98.7%	8	10.8%	2					2				
		女	25	25	100.0%	1	4.0%										

表5 内科診察 (対象者:1回生) ※2021年度の健康診断では1回生のみ内科診察を実施

回 生	学 部	所見件数	所見者の領域別										事後措置 内容(件数)								指導区分			結果未判明	医療機関 紹介後	
			呼吸器系	消化器系	循環器系	筋・骨格系	皮膚・皮下組織	神経系・感覚器	内分泌代謝	泌尿器系	婦人科系	血液系	その他	要呼出者数	状態確認	内科診察	心電図検査	検査 検尿 二次	検査 血圧検査	検査 胸部精密	エコー検査	放置可	経過観察			医療管理
1回生	教育	6	1		3	1	1							5	3	1				1		1		1		
	経済	11			4				6				1	10	1	8	1				7	2	1			
	DS	2			2									1	1	1				1	2					

令和3年度学生定期健康診断(学部生)の成績(速報版)

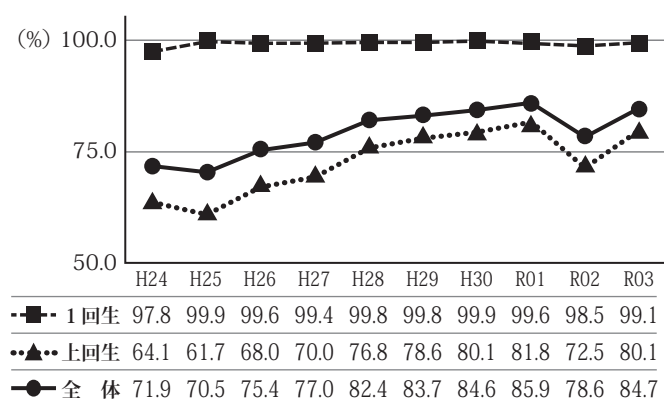
保健管理センター 所長 山本 祐二

今年度の学生定期健康診断は、3月30日から4月5日の期間に大津・彦根両キャンパスにおいて各々4日間・6日間をかけ実施しました。会場ではいわゆる三密を避け、十分換気に注意した感染対策を施しました。学部生の結果について報告します。

(注:表の集計は令和3年8月31日現在です)

健康診断の受診率: 1回生は99.1%と例年通りほぼ全員が受診しています。2回生以上は80.1%で昨年度に比し受診率が7.6ポイント上昇し、全体でも対象者3,375人中受診者2,857人の84.7%と昨年比6.1ポイント上昇しましたが、コロナ禍以前の一昨年来をやや下回る結果となりました(図1)。

図1 健診受診率の年次推移(直近10年)



血圧測定(表1):再検査の基準は収縮期血圧140mmHg以上または拡張期血圧90mmHg以上です。1回目の測定で高血圧を指摘された者は、386名(11.4%)おり、2回目の測定でも血圧が高かった130名を事後措置対象としました。2名が医療管理下にあります。

表6 事後措置数の年次推移

年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R01	R02 [※]	R03 [※]
有所見件数	488	579	641	652	684	542	582	713	470	270
事後措置件数	429	515	526	535	612	483	518	656	371	188
未了件数	59	64	115	117	72	59	64	57	99	82
未了率	12.1%	11.1%	17.9%	17.9%	10.5%	10.9%	11.0%	8.0%	21.1%	30.1%

※令和2年以降、血圧は2回目測定においても異常を示したものを有所見者として集計しています。

尿検査(表2):尿検査においては、尿糖、尿蛋白、尿潜血がそれぞれ陽性(試験紙法で1+以上)を呈したものを要再検査と判定しています。要再検判定は67名(延73件)でした。その内訳は尿糖6件、尿蛋白32件、尿潜血35件でした。再検査は42名(延57件)に実施し、5名が医療管理下にあり、2名が医療機関に紹介後結果未判明です。

胸部X線検査(表3):1回生は全員に、2回生以上は希望者に実施しています。受検率は表3の通りでした。4名が医療管理下にあります。新たに結核と診断されたものは皆無でした。

心電図検査(表4):対象は1回生です。44名の有所見者中、13名を呼び出し、4名が医療管理下にあり、2名は医療機関に紹介後結果未判明です。

内科診察(表5):昨年度から対象を1回生に絞って実施しています。有所見件数は19件で、呼び出し対象者は16名で内1名を医療機関に紹介しました。循環器系(血圧、脈など)における指摘が多く、次いで内分泌代謝系(主に甲状腺の腫大など)でした。

健康診断は受診するだけでなく、事後措置まで完了してはじめて意味のあるものとなります。保健管理センターでは事後措置未了者ゼロを目指して今後も取り組んでまいります(表6)。当センターから呼出しを受けた方は速やかに応じて下さい。

オンラインと身体性

障がい学生支援室 特任准教授 谷口 麻起子

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2020年度から滋賀大学ではオンライン授業が開始されました。また保健管理センターのカウンセリング、診療にもオンラインが導入されました。2021年度も引き続きオンラインは活躍し、すっかり慣れてきたところもありますが、やはり人によって好き嫌い、向き不向きはあるようです。オンライン授業あるいは面接については、対面との対比から多くの議論がなされてきましたが、ここでは「間合い」(諏訪, 2020)を元に、あらためてオンラインの特性について考えてみようと思います。

(1) エネルギーのようなもの

混みあった横断歩道にあなたがいますとします。その中であなたは進んでいくわけなので、他人とぶつかってしまいそうです。しかし(少なくとも慣れてくると)思いのほかぶつかるといわずに、歩いていけるものです。これはなぜでしょう？

大きな物や建物が目の前にある時、私たちは「圧力」や「圧迫感」を感じます。この見えない「圧力」「圧迫感」を「エネルギー」と例えてみると、私たちは人に対してもエネルギーを感じますし、あるいは他者に対して自分がエネルギーを発していることもあります。エネルギーは“存在感のようなもの”と言い換えることができるかもしれません。

では先ほどの横断歩道の話に戻ると、横断歩道にたくさんの人それぞれがエネルギーを出していますので、エネルギーが密になる、いわば“固まり”のようなものができることになります。その一方で人と人之间には「間合い」がありますのでエネルギーが疎となる場、つまり隙間もできるのです。私たちが人にあまりぶつかることなく進めるのは、“エネルギーの疎密を感じ取る身体性があるから”と考えることができるのです。

(2) エネルギーの疎密とオンライン授業

ではエネルギーの疎密を感じ取るには、どうするのが良いと思いますか？ひたすら前をしっかりと見ることでしょうか？実は雑踏において臨機応変に動くためには、「どこにも焦点を合わさずに全体をぼわんと眺めていると、自然に、どこに疎の領域

(筆者加筆:あるいは密の領域)が存在するかを感じ取る」ことができるそうです。

さてこれを、教室に座って授業を受けている場面で考えてみましょう。授業の聞き方は人それぞれですが、「どこにも焦点を合わさずに全体をぼわんと眺める」瞬間がないでしょうか。このとき私たちは座席・受講生の数の疎密のみならず“授業への集中度や熱意度”というエネルギーの疎密も無意識に感じ取っているのではないかと思います。もちろんそこには、教える先生の“気迫や熱意”のようなものも含まれているでしょう。教室での授業では、内容だけでなく“エネルギー”を感じ取ることによってそのおもしろさや意味を、身体性を通じて感じ取るところがあると思います(人によってはそれが「圧迫感」のように感じられて苦手と思うことがあるかもしれません)。そこには目に見えない、“生身の関わり”と、授業という場での“真剣な出会い”があるとも言えるでしょう。

翻ってオンライン授業では、たとえリアルタイムであっても先生や受講生のカメラオンであっても、伝わるのは2次元の画像に留まります。そこではどうしても身体性を通じたエネルギーを伝えたり、感じたりすることはできません。パソコンやスマホを含めた風景全体をぼわんと眺めても、エネルギーの疎密はみえてこないでしょう。いくら内容がおもしろくとも何か物足りない、何か欠けていると感じさせられることがあるのは、それぞれの生身から発するエネルギーが伝わってこないからなのかもしれません。

私自身はオンライン授業も対面授業も、そしてオンライン面接も対面面接も一長一短だと思っています。オンラインではエネルギーを感じ取ることはできませんが、それでも感じ取れるように想像してみることはあります。そして“対面にあってオンラインにないもの”、あるいはその逆を意識することもおもしろいと思っていますし、両者の差を埋める工夫を考えるのもおもしろいと思っています。

将来的にオンラインが3D画像でできるようになったら、エネルギーを感じ取ることはできるようになるのでしょうか・・・？

*参考・引用文献

諏訪正樹編著(2020)「間合い」とは何か—二人称の身体論. 春秋社

こんなことで困っていませんか —「障がい学生支援室」の心理コーディネーターができること

障がい学生支援室 特任准教授 谷口 麻起子

「障がい学生支援室」が滋賀大学にあることをご存知でしょうか？滋賀大学は障がいのある学生の修学支援や生活支援をすることを定めています。その取り組みの1つとして、ここでは「障がい学生支援室」の心理コーディネーターができることをお知らせしたいと思います。

さて大学生活の中で、このような困りごとはありませんか？

- | | |
|-----------------------------|-----------------------|
| ✓ 授業のノートやメモを取るのが苦手 | ✓ 発表スライドを作るのが苦手、発表が苦手 |
| ✓ レポートをどう書いていいかわからない | ✓ スケジュール管理が苦手 |
| ✓ 本を読むのが苦手、本を読む時間がない | ✓ 忘れ物が多い |
| ✓ 先生への連絡の仕方がわからない | ✓ 勉強に集中できない |
| ✓ コミュニケーションが苦手 | ✓ 周りの人の会話に入れない |
| ✓ 不安が高くて何も手につかない、大学に行けない | ✓ メールの書き方がわからない |
| ✓ なんとなく大学に行く気がしないまま時間が過ぎている | ✓ 何事にも意欲がわからない |
| | など |

このような困りごとに心当たりがあれば、一度ご相談にきてください。「自分は障がいがないと思うけれど…」という方も、まずは一度ご相談ください(障がいに由来するものでなくとも、困りごとについては保健管理センターのカウンセラーと一緒に考えてくださいますので、保健管理センターにつながります。)

支援の一例としては…

- ① まずは**面談**をします。
時間をとってお話を聴き、困っていることについて整理します。
- ② **具体的な困りごとについての助言や、便利ツールの紹介**などをします。
例えば「すぐスマホや財布を忘れてしまう」「スケジュール管理ができない」「周りの音が気になって集中できない」といった困りごとについては、それを解決してくれる便利グッズがありますので、それらの紹介をします。
- ③ **授業において、特性に由来する配慮が妥当だと判断された場合は、「配慮願ひ」の申請を検討**します。
これは単位取得を安易にするものではありません。また配慮願ひが全て認められるというものでもありません。しかしながら障がいの特性上、教育の本質を損なわない工夫を行うことで、みなさんの学びたい気持ちをサポートします。
- ④ **担当教員等の連絡や面談をサポート**します。時には合同で話し合います。
- ⑤ **適宜面談を行い、支援を受けつつ主体的に生活していくためのサポート**をします。

相談の申込：障がい学生支援室（両キャンパス共通）

- *窓口受付期間：月曜日～金曜日 9時～17時
- *窓口：彦根キャンパス校舎棟1階 学生センター(学生支援課内)
- *連絡先：Tel 0749-27-8166 Fax 0749-27-1149 E-mail: sy-suppotroom@biwako.shiga-u.ac.jp

レクリエーション企画・ワークショップのご案内

保健管理センターでは、いくつかのレクリエーション企画を行っています。

季節の草花を使った工作企画や、映画鑑賞の時間など様々な企画があります。

日常の忙しさを忘れて、保健管理センターでゆっくりした時間を過ごしてみませんか？

興味のある方は参加してくださいね♪

毎年恒例のクリスマスリース作り本年度は12月開催予定!

学生さんはもちろん職員のみなさまもお楽しみいただける企画です!

開催日時は掲示やサクセスでお知らせします。

ヘルシーキャンパス滋賀大学

世界禁煙デーであり、本学の開学記念日でもある5月31日(月)に、本学講堂大ホールにおいて、位田学長が「ヘルシーキャンパス滋賀大学」を宣言しました。「ヘルシーキャンパス滋賀大学」とは、学生・教職員の“こころ”と“身体”の健康を増進し、最適な修学・就業環境を目指す取り組みです。

保健管理センターでは、次のような取り組みで「健康を大事にする文化」の大切さを社会に広く発信していきます。

- ◆学内の健康に関する活動情報や研究成果を収集し、学内外へ発信
- ◆健康相談・禁煙相談の実施
- ◆健康セミナーの開催 など

保健管理センター相談日

	からだの相談	こころの相談
彦根キャンパス 保健管理センター ☎ 0749-27-1024 ✉ hoken@biwako.shiga-u.ac.jp	山本医師(健康相談) 毎週火・木 高村医師(整形外科) 第1金	久保田医師 毎週火・金 國松カウンセラー 毎週月 渡部カウンセラー 毎週火 谷口カウンセラー 毎週水・金
大津キャンパス 保健管理センター分室 ☎ 077-537-7709 ✉ hoken@edu.shiga-u.ac.jp	山本医師(健康相談) 毎週月・水 北村(清)医師(内科) 毎週月 北村(博)医師(整形外科) 第1・3金	久保田医師 毎週月・木 谷口カウンセラー 毎週火・木 岩城カウンセラー 毎週木

※上記の相談日は講義等医師の都合により変更されることがあります。掲示板等で確認してください。

こころの相談について

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、保健管理センターにおける対面形式でのカウンセリングは当面の間中止しておりますが、代替手段として、電話やビデオ通話での遠隔カウンセリングによるサポートを行っております。

ご希望の方は、メールにて、氏名と学籍番号、およびカウンセラーへのご要望(性別など、あれば)をお書きの上、ご連絡ください。